

2019年8月6日

各 位

会社名 Delta-Fly Pharma株式会社
代表者名 代表取締役社長 江島 清
(コード：4598 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理管掌 松枝 康雄
(TEL：03-6231-1278)

抗がん剤候補化合物 DFP-17729 の開発状況のお知らせ

当社は、抗がん剤候補化合物 DFP-17729 の臨床試験の開始に向けて準備を進めています。この度、その中で得られた基礎実験および臨床研究の結果に基づき、2019年7月18日に新たな特許（名称：抗がん剤の効果増強剤）を出願しましたので、お知らせいたします。

また、最初に出願した特許（名称：がん細胞の代謝の特異性に基づく新規抗悪性腫瘍剤）が、日本に引き続いて韓国でも成立しましたので、併せてお知らせいたします。

DFP-17729 は腫瘍微細小環境（TME：Tumor microenvironment）をアルカリ化することにより制御し、がん細胞の増殖を抑える効果があり、医薬品として承認・販売されている尿アルカリ化剤の抗がん剤としての適応追加を行う予定です。本年度中に日本国内での膝がん他を対象とした臨床試験の開始に向けて、国内の製薬会社との協議を進めています。

なお、本件に関する2020年3月期の業績への影響は現時点ではありませんが、業績に影響を与える場合には速やかに開示いたします。

※尿アルカリ化剤による抗腫瘍効果増強作用について

「尿アルカリ化剤（クエン酸塩、重曹等）」は痛風の予防・治療剤として医薬品として応用されています。当社では尿アルカリ化剤が腫瘍の微細小環境を改善し、がんを効果的に治療するための物質として、抗腫瘍効果増強作用があることを発見しました。

今回の特許申請では、クエン酸塩と抗PD-1抗体薬との併用投与により、担がんマウスのがん増殖抑制効果が認められたことも含まれております。

※抗PD-1抗体薬について

PD-1は人間の免疫機能に関わる重要な受容体の1つで、「抗PD-1抗体薬」はこの受容体を阻害し、がん細胞によって傷ついた「細胞傷害性免疫機能」を回復させる薬剤です。

以上